

▶▶ 技術士とは

技術士は、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野に関わり、公共や企業に所属または技術士事務所を開設して、先進的な活動から身近な生活にまで貢献しています。

【21の技術分野】

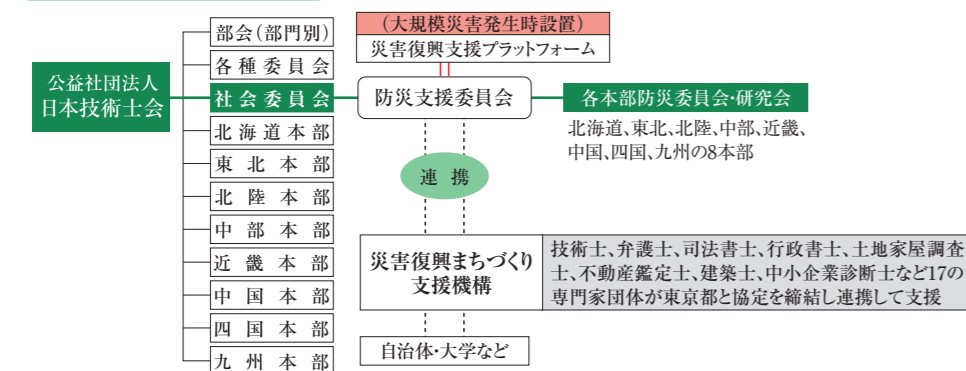
機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、環境、原子力・放射線、総合技術監理

技術士は、法律により規定された、科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威ある国家資格です。

技術士は、技術士法により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務となっています。

私たち技術士は、行政や関連学協会と連携しつつ、安全で暮らしやすい社会の実現に向けて技術の力で貢献します。

防災支援委員会組織図



もっと防災支援委員会の活動を知りたい方は

日本技術士会ホームページ
<https://www.engineer.or.jp/>



防災支援委員会ホームページ
https://www.engineer.or.jp/c_cmt/bousai/



▶問い合わせ先【電話・ホームページ・アドレス】

- 北海道本部：〒060-0002 札幌市中央区北2条西3丁目 敷島ビル9階
Tel. (011) 801-1617 <http://www.ipej-hokkaido.jp/>
- 東北本部：〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-6-25 宮酪ビル2階
Tel. (022) 723-3755 <http://tohoku.gijutusi.net/>
- 統括本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
Tel. (03) 3459-1331 <https://www.engineer.or.jp/>
- 北陸本部：〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地3 技術士センタービルII 7階
Tel. (025) 281-2009 <http://gijyutsu.whitesnow.jp/>
- 中部本部：〒450-0002 名古屋市市中村区名駅5-4-14 花車ビル 北館6階
Tel. (052) 571-7801 <http://chubu-ipej.sakura.ne.jp/>
- 近畿本部：〒550-0004 大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館ビル 2階
Tel. (06) 6444-3722 <http://www.ipej-kan.jp/>
- 中国本部：〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 第3ウエノヤビル 6階
Tel. (082) 511-0305 <http://www.ipej-chugoku.jp/>
- 四国本部：〒760-0067 高松市松福町2-15-24 香川県土木建設会館3階
Tel. (087) 887-5557 <http://ipej-shikoku.org/>
- 九州本部：〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目19-5 博多石川ビル6階D2
Tel. (092) 432-4441 <http://www.pekyushu.com/>

Professional Engineer



技術士と 日本技術士会の 防災支援

技術の力で安全で
暮らしやすい社会に貢献

- 国や自治体の災害復旧・復興と防災・減災活動を支援します
- 市民グループや教育現場での防災・減災活動を支援します
- 企業や組織の防災・減災活動、事業継続を支援します
- 技術士は常に自己研鑽を積み高度な知識を維持しています

01

国や自治体の災害復旧・復興と防災・減災活動を支援します。

技術士は、高度な知識と士業ネットワークにより災害発生後の復旧・復興はもとより公共の防災・減災活動に貢献しています。

- 日本技術士会は、全国の自治体と災害時協力について協定を締結し、連携をしています。
- 弁護士、不動産鑑定士など「士業」が協力して地域防災支援団体を結成し、災害時支援協力や防災・減災活動、減災啓発活動を支援しています。
- 高度な技術力を活かして、自治体が実施する災害復旧技術委員会の委員等を務めるほか、多くの個人、企業所属の技術士が防災・減災活動とともに被災後の復旧・復興に携わっています。

これらの活動は、日本技術士会防災支援委員会ホームページで紹介しています。

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/bousai/categories/index515530.html



02

市民グループや教育現場での防災・減災を支援します。

技術士は、高度な知識と経験を活かして市民グループや教育現場の防災・減災啓発活動や自助・共助のプログラム造りに貢献しています。

- 日本技術士会は、「減災まち歩き点検」や「防災・減災の出前講座」などを通じて、ワークショップ形式による市民グループの防災・減災活動を支援しています。
- 「小中学校への防災教育」では、自治体に協力して小中学校での直接指導や講演、教員向けの指導など、幅広い防災・減災教育支援を実施しています。
- 携帯用「防災カード」や「減災チェックリスト」、「家族で考える防災Q&A」など市民向け、家族向け配付資料を作成し、自由にお使い頂けるよう公開しています。

これらの公表資料は、日本技術士会防災支援委員会ホームページで紹介しています。

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/bousai/categories/index515540.html



技術士と日本技術士会の防災・減災支援活動をご紹介します

03

企業や組織の防災・減災活動、事業継続を支援します。

技術士は、高度な知識で企業や組織の防災・減災活動に貢献しています。

- 技術士には、高度な専門分野の知識に加え、リスクマネジメントや事業継続計画 (BCP) 策定、事業継続マネジメント (BCM) の経験豊富な者が多数いて、企業や組織の計画立案、マネジメントに貢献しています。
- 技術士事務所に委託することで、技術士が在籍しない企業においてもBCP策定、BCMを実行することが可能になります。
- 技術士がこれらの業務を担当することで、アカウントビリティ (説明責任) を補強することができ、関係省庁や自治体等への説明が公正に行えます。

企業・産業界の皆様への技術士活用のご提案について、日本技術士会ホームページで紹介しています。

https://www.engineer.or.jp/contents/for_industry.html

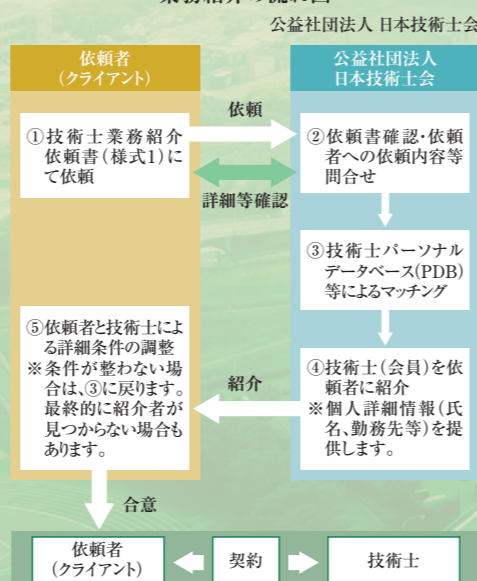


技術士に業務を依頼したい方はこちらをご覧ください。

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/kassei/topics/004/004350.html



業務紹介の流れ図



04

技術士は常に自己研鑽^{けんさん}を積み 高度な知識を維持しています。

技術士は、高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上を責務としています。

- 技術士は、技術士法により継続的な資質向上に努めることとされており、常に自己研鑽 (CPD) を積んでいます。
- そのため、技術士はいつでも技術者倫理に裏付けられた高度な技術サービスを提供できます。
- 日本技術士会は、防災・減災を含むさまざまなCPDプログラムを提供しており、一部は一般の方にも提供されています。
- 技術士の自己研鑽については、こちらをご覧ください。

https://www.engineer.or.jp/contents/engineer_cpd.html

